

第64回 AIST・筑波大学・TCIベンチャー技術発表会のお知らせ

主催 筑波大学・産業技術総合研究所・(株)つくば研究支援センター

筑波研究学園都市の大学・研究所・地元ベンチャー企業等の技術交流及び活性化を目的とし、AIST/筑波大学/TCIベンチャー技術発表会を下記要領にて開催いたします。

- 1 日時 平成29年1月20日(金) 14:00~15:00
- 2 場所 つくば研究支援センター 研修室B (つくば市千現2丁目1番6)

Program

午後2時00分から2時30分

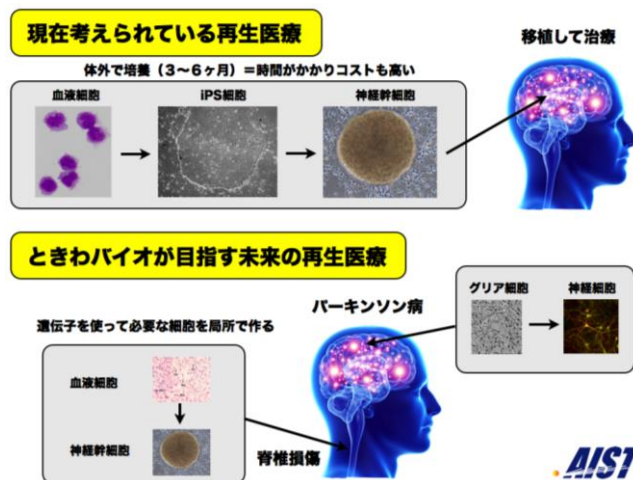
ステルス型 RNA ベクターを使った革新的な医療の実用化をめざして

ヒトや動物の細胞に遺伝子を導入し発現させる遺伝子導入ベクターは、再生医療・遺伝子治療・バイオ医薬品の製造などに欠かすことができない技術です。しかし、現在使われているベクターのほとんどは20年以上も前に開発された古い技術で、最新のニーズには必ずしもマッチしていません。

ステルス型 RNA ベクターは、(国)産業技術総合研究所で開発された純国産技術で、先端医療分野の幅広いニーズに対応しています。ときわバイオ(株)では、「世界最高品質の医療用 iPS 細胞」「必要な細胞を体の局所で作り出すダイレクト・リプログラミング」「バイオ医薬品を体内で作出す次世代遺伝子治療」など、ステルス型 RNA ベクターを使った革新的な医療の実用化を目指しています。

発表者：ときわバイオ株式会社 取締役(CTO) 中西 真人 氏

URL：<http://www.tokiwa-bio.com/>
<https://unit.aist.go.jp/ictes/tmb/interview14.html>



午後2時30分から3時00分

糖鎖合成・解析技術で、バイオ医療分野にパラダイムシフトを

近年、個別化医療(パーソナライズド・メディシン)や、疾病の早期発見、最適な治療法の選択、疾患予後の予測などに役立つ価値の高い検査や診断技術が求められています。

GL-iは、産業技術総合研究所で開発された糖鎖解析技術に関する研究成果の実用化(臨床検査薬、創薬)を推進しています。私たちは、「糖タンパク質解析のプラットフォーム技術」を用いて、新たな臨床検査技術の開発を行い、将来的には、臨床検査薬のみならず、糖鎖の機能を活用した糖鎖創薬事業を展開し、臨床検査薬、医薬品の両面で、糖鎖関連医療をリードしていく企業を目指します。将来的に、私たちの技術は先制医療への応用も可能となると考えております。

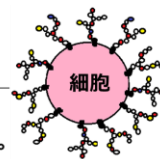
発表者：グライコバイオマーカー・リーディング・イノベーション株式会社

代表取締役 竹生 一行 氏

URL：<http://www.gl-i.co.jp/>

☆糖鎖とは？

- ① 様々な糖が鎖状につながった物質。
- ② 細胞の表面や、タンパク質の周りに産毛のように付いている。
- ③ ひとつの細胞に500から10万個付いている。
- ④ 付く糖鎖の形の違いでタンパク質などの機能が決まる場合がある。
- ⑤ 体内には約200種の糖鎖遺伝子が存在すると言われていて、メカニズム的にはまだ良くわかっていない。



糖鎖は、細胞の変化に合わせて微妙に変化する

■申込方法：会社名・所属・氏名・連絡先を

E-mail：sotaku@tsukuba-tci.co.jp までご連絡下さい。つくば研究支援センター 担当：石塚・後藤 TEL:029-858-6000